繊維学会創立 60 周年記念事業を実施して

Report on the Several Events Celebrating the 60th Anniversary of the Society of Fiber Science and Technology, Japan

白 井 汪 芳

社団法人繊維学会は、大正 13 年 4 月に設立された繊維素協会と昭和 10 年 2 月に設立された繊維工業学会が昭和 18 年 12 月 10 日に統合されて発足してから、平成 15 年 12 月 10 日に創立 60 周年を、また、本年 4 月には繊維素協会設立から創立 80 周年を迎えました。

6 月 9 日～11 日には、東京・タワーホール船堀で開催された今年度の年次研究発表会の会期中に記念式典・講演、記念パーティーを開催致しました。記念式典では文部科学省研究振興局長 石川明氏、経済産業省製造産業局繊維課長 山本健介氏、社団法人日本化学次期会長 村井真二氏からご祝辞を頂きました。特別講演では、遠藤剛高分子学会前会長から未来の繊維素材アミノ酸ポリマーの可能性について、また日本化学繊維協会皇芳之会長からは日本の化合繊維産業の将来像と題してのご講演を頂きました。また、併せて、デザイナーの岡正子さんの地球環境とファッションの共存についてのトークとショーも行い、引き続き開催された記念パーティーでは、中国、韓国を代表する繊維工業系学会長、代表の他、約 230 名が参加し盛大な会となりました。

昨年、韓国繊維工学会は創立 40 周年を迎え、これを記念して 10 月にソウル・漢陽大学で日韓合同シンポジウムを開催し、日本側から約 30 名が参加しましたが、今回は中国を加え日中韓合同シンポジウムを 60 周年記念事業として同時開催しました。中国 13 名、韓国 43 名、台湾 6 名参加の計 62 名が海外から参加し、充実したシンポジウムとなりました。

その他各支部での記念行事も順調に行われています。

6 月 30 日からは、繊維学会と日本科学未来館と共催で、スポーツから宇宙開発、バイオまでのあらゆるハイテク分野を融合し、未来に向かう世界のトップを走る「疾走するファイバー展」、さらにナノファイバーや生命を支えるバイオナノファイバーなど限りなく深まり、広がる繊維の未来を展望するイベント展が日本科学未来館の協力により始

まりました。このみらいせんい展は、8 月 31 日まで行われます。会員各位が大勢参加され、繊維学会の未来を議論して頂きたいと思います。

記念出版としては、「会員名簿」、「全国繊維科学研究要覧」、「やさしい繊維の基礎知識」がすでに出版され、12 月には「繊維便覧第 3 版」が丸善から出版されます。

繊維学会誌 6 月号には繊維材料など 16 分野の 10 年間の研究開発の進歩のレビューと 27 件の将来技術展望が特集されました。さらに、60 周年を記念し、関連学会、協会、大学等の学長など我が国の各会を代表される 23 名および海外から 8 名の方々から頂いたお祝いのメッセージを掲載させて頂きました。お寄せ頂いた方々にここに感謝の意を表します。

60 周年記念事業には多くの個人会員、企業会員およびご賛同頂いた企業・団体に、さらに、みらいせんい展に協賛、特別協力・協力頂いた企業には多大のご支援を頂きました。ここに、学会を代表して厚く御礼を申し上げます。

また、これらの事業の実行にあたり、各委員長をはじめとする多数の委員の皆さまには多大なご苦勞をおかけ致しました。併せて御礼を申し上げます。

繊維学会は今まで、基礎から最先端に至る我が国の繊維総合科学技術を名実ともにリードして参りました。また、繊維および関連産業の発展にも多大な貢献を続け、国の内外からも高い評価を得てきました。

衣料としての繊維の技術は人類の文明とともに進歩し、人間が生きるための最も基本のものであり、今後も必要不可欠のものです。また、繊維科学技術は、宇宙・航空、建設・環境、資源・エネルギー、情報・通信、医療・福祉など人間生活のあらゆる先端分野に欠かせない新しい用途を次々と拓いてきました。日本の繊維産業は、規模では中国、アジアに譲りましたが、高性能、高機能、高感性などのハイテク繊維分野では世界をリードし、21 世紀に入って、このようなフロンティア分野やナノファイバーテクノロジーなどの最先端分野に急速に展開してきています。繊維学会は広がる未来の繊維科学技術を牽引するために、産学官の連携および異業種、異分野との融合連携の要としての役割を担って参りたいと思います。

繊維学会は、この 60 周年を繊維ルネッサンス元年と位置づけ、我が国の世界に誇れる伝統を踏まえ、未来に向けての新しい産業の振興を目指した取り組みをしていく所存です。引き続きご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

HIROFUSA SHIRAI
信州大学繊維学部教授
工学博士 (社) 繊維学会会長
〒386-8567 上田市常田 3-15-1
Tel: 0268-21-5485 Fax: 0268-21-5608
E-mail: hshirai@giptc.shinshu-u.ac.jp
専門 高分子化学、繊維化学